

第1回 豊岡市公営企業審議会 議事録（要旨）

開催日時 2022年11月28日（月） 14時00分から15時30分まで
開催場所 豊岡稽古堂 3階 交流室3-1
出席した委員 都築会長、坂本副会長、島崎委員、霜倉委員、中易委員、橋本委員、
勾田委員、山口委員
欠席した委員 作花委員、西村委員
事務局 河本上下水道部長
水道課 谷垣課長、井垣参事兼課長補佐、西田水道経理係長
下水道課 榎本課長、堀田参事、松岡課長補佐、
山本下水道経理係長
傍聴者 2名
司会進行 事務局、会長（会長就任後）

1 開 会（14時00分）

2 市長あいさつ

3 委員紹介等

4 豊岡市公営企業審議会について

事務局から豊岡市公営企業審議会について、資料1に基づき説明。

5 会長・副会長の選任

「事務局推薦」を諮り承認後、豊岡市公営企業審議会条例第5条の規定に基づき、委員の互選により会長に都築委員を選任。

（会長の就任あいさつ）

副会長の選任について、「会長推薦」承認後、坂本委員を推薦され、委員の互選により副会長に坂本委員を選任。

（副会長の就任あいさつ）

6 議事録署名委員指名

議事録署名人について、これまで通り委員名簿順（会長・副会長・欠席委員除く）とし、島崎委員と霜倉委員を指名。

7 議 事

(1) 事業の概要及び現状について

事務局から「上下水道事業の現状と課題」、「上下水道の事業概要と今後の取り組み」、「水道料金の改定」について、資料2に基づき説明。

(質疑)

委 員：4月から水道料金が改定されるということだが、その料金で何年もつのか。5年ぐらいしたら見直しするということだが、現状を見ると、市全体で空き家が増えている。それに合わせて料金収入も減るだろうと想定していると思うが、5年ぐらいはもつのか。

事務局：5年間の算定期間で収支を考えて、料金設定をしている。5年後に改めて次の5年間について検討していただくことになる。今回は、2022年度から2026年度までの5年間で算定をしたが、2022年度は値上げしなかったのので、その分は厳しくなるかと思う。維持管理費に資産維持費を上積みして算定しているが、その部分を次の検討時にどのようにしていくかということになるかと思う。人口減少により有収水量が減ってきており、委員が述べたとおり、私どもも心配しているところである。そういった中で、できるだけ支出も抑えられるように努力していきたい。電気代が大きく上がっている。その分は料金の算定に入っておらず、今後どうなっていくのか不透明な部分もある。

委 員：水道料金や下水道使用料だけを考えるように、市全体の方向性を一つずつ分けて考えていては、何の対策にもならないのではないかと。総合的に考えた中で、空き家対策であったり、企業の誘致促進であったり、そういったものを加えて考えていかないと、住み続けていく人たちがしだいに厳しくなっていく。時代の流れだから仕方ないなど、他の要因のせいにしてしまったり先送りしていくと、ますます住み続けていくことが難しい町になっていくと心配している。特に若い人たちが住んでくれる「まちづくり」をどうしていくのかということが大事であって、それぞれの課題解決のために料金等を上げていくということでは、次の世代が苦しむことになるのではないかと。また、これだけ市域が広いと、それぞれの地域には事情というものがあり、その部分をもう少し総合的に考える余地があるのではないかと、いつも疑問に感じている。水道、下水道を考える前に、一つのビジョンがいるのではないかとと思う。

事務局：市全体として、人口ビジョンを立てて、この危機をいかに乗り切るのかということでもいろいろと策を打っているが、なかなか結果にはダイレクトに結び付いていない。公営企業に関しては、地方公営企業法や下水道法、水道法などの法律の中で、公平性に主を置いて、利用していただいた分の料金を徴収して事業をしていくという性質がある。今

言われた意見は、真摯に受け止めて、何か策がないか、別で考えさせていただく。この公営企業審議会に関しては、水道事業、下水道事業の中でお願いしたい。

委員：資料4頁に有収率80.60%とあるが、ここに入っていない残り約20%分は、主にどのようなことに使われているのか。

事務局：主に漏水で、管の途中でこぼれた分である。メーターを通過して、住居敷地内で漏水して、減免の対象となった水量についても、料金にならない水量ということで、約20%の中に含まれる。有収水量の割合を大きくするために、現在、老朽管の更新工事を行うなど整備を行っているが、なかなか追いついておらず、ここ数年は、有収率80%程度をなんとか維持しているところである。

会長：料金改定について周知されているが、委員の皆さんはご存じなのか（各委員、うなずく）。周知そのものにもコストが掛かることであり、皆さんにも十分に伝わっているようであれば、今後の周知については、多少はコスト削減を考えた上で対応を進めていけると思うが、どうか。

委員：（特に意見なし）

(2) 2021年度の決算状況と今後の収支見通しについて

事務局から、水道事業と下水道事業の「2021年度の決算状況と今後の収支見通し」について、資料2に基づき説明。

(質疑)

なし

8 その他

事務局から、今後の審議会の開催予定について説明。今年度中の開催は、現時点では予定はなく、急遽、審議を要する案件が生じた場合、日程調整させていただく。

9 閉会（15時30分）

坂本副会長あいさつ